

参加者 岩手萩田、佐藤、山形天池、秋田奈良、福島長沢、青森三上、宮城仙北屋（敬称略）

1、全国ブロック長会議報告

議事録配布済ですので要点報告

・東北ブロック組織変更

退任 吉田顧問 萩田教育部長、國井副ブロック長兼山形県会長、戸田福島県会長

新任 奈良副ブロック長、國井東北ブロック教育部長、長沢東北ブロック副教育

部長、菊池東北ブロック副教育部長、天池山形県会長、長沢福島県会長

A ライセンス認定員 萩田、國井 その他各県の組織明確化済（配布済）

会員及び支部増減について

3年間で17000人増であるが9538名の退会もあった。3段取得すると退会者が減る傾向である。支部は1支部50名以上のマンモス支部があるので分割する事。平均12名程度の支部人数が全国平均である。

講習会開催のお願い

教育部よりブロック及び各県単位での講習会開催を年内に企画し実施要請有。

参加費無料、場所代、講師謝金など経費は協会に請求。教育部規定13条参照

その他報告

- ・ブロック長活動支援金使途報告、各ブロック普及戦略状況報告、ねんりんピック状況報告、セントラルスポーツクラブプログラムの導入報告。

6 段試験日程

6/13 日山形で開催したが11名受講で合格者は無し。

8/22 日福島県飯野学習センターで開催予定。現在7名の申し込み有。

試験に使用する的スタンドは正規品で行う必要があると思われるので検討する。

ブロック主催大会について

六魂大会は10/5 山形で開催。

東北大会は9/1 岩手県一関市で開催。

東北大会は 72 レーン程度設置。審判団は25名編成し専任の審判体制とする

各県より5名以上の派遣とする。審判謝金、お弁当は支給予定。

各県の個人名は7/28日までに萩田へ報告する。審判体制は

主審、進行役、副審×4、ゾーン審判×14名（1人5レーン担当）

予備×6名構成。レーン審判は選手兼務とする。

入賞商品、参加賞などは高価でなく簡素化する。次年度に向けては

スコア集計時間の活用方法を再検討していく。また、大会経費につ

いては各県での費用負担などの検討も視野に入れていく。

団体戦は5名で申し込むこと。役員競技については実施しない。